



パートナーシップ通信(第70号)

令和7年12月 交通・地域安全課



～犯罪被害者等支援講演会を開催しました～

語り手 御手洗氏(佐世保小6同級生殺害事件被害者の実兄)

特別講演 「被害者遺族のきょうだい支援について」

聞き手 前田和明氏(長崎犯罪被害者支援センター理事長)



11月25日から12月1日までの犯罪被害者週間に併せて、11月23日、長崎原爆資料館ホールで対談形式の犯罪被害者等支援講演会を開催しました。

御手洗氏は、平成16年、長崎県佐世保市的小学校内で同級生から殺害された御手洗怜美(さとみ)さんの実兄で、妹の死を知った後、自分が怒っているのか悲しんでいるのか分からなかったという感情や悩みを誰にも相談できない状態に陥ったなど、当時の心境や被害者きょうだいの心のケアの必要性などの説明がありました。

令和7年年末の交通安全県民運動

年末の交通安全県民運動が12月15日(月)から12月24日(水)まで実施されます。

スローガン

飲む前に 車じゃないよね？ 再確認

重点

- 飲酒運転などの悪質危険な運転の根絶
- 歩行者の安全な道路横断方法の実践と反射材の着用促進
- 高齢運転者の交通事故防止

特別広報

「横断歩道「止まらんば運動」」
及び
「安全横断「手のひら運動」」
の推進



令和7年年末の 交通安全県民運動

実施期間 12月15日(月)～12月24日(水)

スローガン 飲む前に 車じゃないよね？ 再確認



交通安全啓発図画コンクール最優秀作品(令和6年度知事賞)
佐世保市立大野中学校1年(当時) 松井 陽菜さんの作品

● 重点

- ▶飲酒運転などの悪質危険な運転の根絶
- ▶歩行者の安全な道路横断方法の実践と反射材の着用促進
- ▶高齢運転者の交通事故防止

○特別広報：「横断歩道「止まらんば運動」」及び「安全横断「手のひら運動」」の推進

長崎県・長崎県警察・長崎県教育委員会・市町

＼パートナーシップ事業所の活動紹介／

(※令和6年度の活動報告から)



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社長崎支店（長崎市）

- 令和6年度中、県から配布された各期の交通安全運動期間のポスターを支店出入口及びエレベーター内に掲示し、社員及び来店者に対し、広報啓発活動を実施しました。
- 社会貢献の一環として、秋の交通安全運動にあわせて、県警マスコットキャラクター「キャッチ君」のイラスト入りの横断旗500枚を県警に、広報啓発用ポケットティッシュ600個を県交通安全協会に寄贈しました。



長崎県五島中央病院附属診療所奈留医療センター（五島市）

- 施設周辺の清掃や歩道に隣接する街路樹の剪定を行い、歩行者が安全に通行できるように環境の整備を図っています。
- 県や市から配布された防災・防犯に関するポスターを院内に掲示するとともに、職員に対しパートナーシップ通信を回覧することにより交通安全・防犯に対する意識づくりに努めています。



株式会社琴花園（大村市）

- 県警から送付された「春の全国交通安全運動」「夏の交通安全週間」「年末の交通安全県民運動」のポスター、県から送付された「パートナーシップ通信」を掲示板に掲示し、従業員に対して防犯・交通安全への意識付けを図っています。
- 10月中、三浦保育園ほか2か所の保育園において、花育活動を行い、これから育っていく命について園児に説明しました。
- 10月10日、大村市内の小学校1年生（約1,064人）の児童にチューリップ球根5球を贈呈し、家庭や学校における環境美化及び花育においての環境整備を提供しました。
- 長崎県推進事業の道路アダプト（県が管理する河川・海岸・道路・港湾・漁港などの清掃美化活動に取り組むボランティア団体を「アダプト団体」「愛護団体」として登録する制度）を三か月に1回、大村市の道路里親制度（市民に市道の里親になっていただきボランティアで道路の管理と環境美化活動を実施）で毎月1回、積極的に参加し環境整備を図りました。
- 大村市の琴平スカイパークイベント「琴平999Hanaフェス」において、県から受領した防犯チラシと文房具等を参加者に配布し、防犯・交通安全への意識付けを図りました。

